

シンポジウム：デジタル映像アーカイブズの可能性

—大学ミュージアム=アーカイブズを考える III—

今日、動く映像は、映画やテレビ番組として視聴するだけでなく、一般人が自らデジタル撮影しインターネット上で発信するなど、その制作・活用の環境は大きな変貌を遂げています。これまでに蓄積されてきたアナログ映像のデジタルアーカイブ化も大きな課題です。大学という教育・研究の場においても、映像資源の開発・活用は今後さらに重要になってきます。今回、駿河台大学文化情報学部共同研究グループと慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構との協力により、表記のシンポジウムを開催いたしますので奮ってご参加ください。

なお、このシンポジウムは、駿河台大学としては平成 17 年度より開始した共同研究による「大学ミュージアム=アーカイブズを考える」シンポジウムの第 3 回に当たりますが、大学における取り組みのみならず、広く「デジタル映像」の今日的課題について検討いたします。

プログラム

- 13:00-13:05 開会挨拶
成田憲彦（駿河台大学法学部教授・学長）
- 13:05-13:15 イントロダクション：文化情報学と映像
波多野宏之（駿河台大学文化情報学部教授・学部長）
- 13:15-13:45 デジタル・キューレーションの可能性—食卓に映しだされた“昭和”と日本の生活文化—
岩淵潤子（慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構教授）
- 13:45-14:15 ミュージアム・コミュニティ・チャンネル構想—美術館活動の動画紹介—
浜崎好治（川崎市市民ミュージアム学芸員）
- 14:15-14:45 アーカイブ・アートとアート・アーカイブ
前田富士男（慶應義塾大学文学部教授・アート・センター所長）
- 14:45-15:00 休憩
- 15:00-15:30 大学における動画のアーカイブ化戦略
大森康宏（立命館大学映像学部教授・学部長）
- 15:30-16:00 放送番組のデジタルアーカイブの現状と未来
鈴木 豊（財団法人放送番組センター事務局長）
- 16:00-16:45 「動画」の著作権処理—インターネット配信を中心に—（ケース・スタディー）
藤川義人（弁護士）
- 16:45-16:50 休憩
- 16:50-17:45 パネルディスカッション
岩淵、浜崎、前田、大森、鈴木、波多野（司会）
- 17:45-17:50 閉会挨拶

日時：2008年3月15日（土）13:00-17:50

会場：慶應義塾大学三田キャンパス東館 6 階 G-SEC Lab

主催：駿河台大学「大学ミュージアム=アーカイブズを考える」シンポジウム実行委員会

慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構

後援：アート・ドキュメンテーション学会、記録管理学会

入場無料：定員 80 名 要事前申し込み（できるだけ E-mail でお願いします）

お問合せ・参加申し込み先：駿河台大学文化情報学部波多野研究室内 シンポジウム実行委員会

〒357-8555 埼玉県飯能市阿須 698

Tel: 042-974-7119 Fax: 042-972-1179（教務気付）

E-mail: hatano@surugadai.ac.jp